

# 活躍する中央OB・OG

伊藤貴広さん  
(平成10年度卒業)

第11回 郵便事業株式会社 鶴岡郵便局 勤務

私は、平成11年3月に鶴岡中央高校を第一期生として卒業しました。卒業後、秋田経済法科大学に進学し勉学に励みました。

大学生時代の就職活動の時は、就職氷河期といわれ、なかなか就職が決まらず、卒業後はいわゆるフリーターをしていた時期がありました。

その後、日本郵政公社に就職が内定しました。

2007年10月の郵政民営化を期に、日本郵政公社を解体し、それまで取り扱ってきた郵便・金融・保険の部門を切り離し、それぞれの公社を作ることになりました。私は、その内の郵便事業株式会社に所属しております。

私が勤務している郵便事業株式会社は、皆様からお預かりした郵便物や荷物をお届けする業務を行っています。その中で主に郵便物の配達と個人情報処理を担当しています。

私の勤務している支店では、1日に約3万から7万通の郵便を配達しています。どの郵便も非常に重要で、間違っただけで配達したり、処理を誤ることは許されません。このような事は、非常にプレッシャーとして感じてしまう部分も少なからずありますが、だからこそ公共性の必要性の高さを実感し、やりがいを感じます。

現在私は、勤務5年目になりますが、まだまだ未熟で失敗をすることもあり、日々勉強の毎日です。30歳前の私が失敗しているのだから、私より10歳も若い中央高校生の皆さんが失敗することは当たり前だと思います。勉強に部活動に積極的に取り組み失敗していくことで人間として成長していくのだと思います。今の私があるのは、チャレンジし、失敗しても、さらにチャレンジしたからだだと思います。皆さんも積極的にチャレンジしていただきたいと思います。



## 部活動紹介 第11回 女子バスケットボール部

本校女子バスケットボール部は二年次生8名、一年次生13名の計21名で活動しています。

練習内容は曜日によって異なりますが、たくさん走っていると思います。

顧問の先生は、支倉淳美先生と菅澤宏明先生です。忙しい中、部活のことを第一に考えてくれる先生です。いつも厳しいですが、厳しさの中にも優しさがあるというのをそのまま表した最高の2人の顧問だと思います！

これまでいろんなことがあり、そのたびにミーティングを行い話し合ってきました。対立したこともありました。でも、やっぱり誰一人欠けてはいけません！大切な仲間なんだと思いました。

私たちの最終目標は総体で県大会に出場し、ベスト8になることです。しかし、今のままでは目標達成は確実に無理です。何が重要なのかを一人一人考え、意識して行動し、お互いをライバルとして切磋琢磨し個々の力を伸ばして、総体……この仲間全員が嬉し泣きで終わるように、悔いを残さないように、日々の練習を大切に頑張っていきます。



### 編集後記

第14号は、「創立10周年記念 総合学科 課題研究発表会」や「山形県立鶴岡中央高等学校 サイトマップ」などを取材しました。みなさんご存知でしょうか？ 本校のホームページは、この広報課が担当しております。ご意見ご感想は、右記までお願いいたします。さらに見やすいHPを作成していきたいと思っております。今後も本校ならではの特色などを校外に情報発信していきたいと考えています。

山形県立鶴岡中央高等学校

〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国410  
TEL: 0235-25-5724

ホームページアドレス <http://www.tsuruokachuo-h.ed.jp>  
メールアドレス [kouhou@tsuruokachuo-h.ed.jp](mailto:kouhou@tsuruokachuo-h.ed.jp)  
(問合せ先)

広報担当：井上 祐、庄司 吉郎、佐藤 佳奈

## 創立10周年記念 総合学科「課題研究発表会」



平成20年度創立10周年記念総合学科課題研究発表会が12月21日(日)に鶴岡市文化会館ホールにおいて開催されました。

第1部では、総合学科の紹介と山形県総合学科発表交流会の報告、また、第1年次生の「産業社会と人間」で実施したインターンシップの体験発表、および、第2年次生の「総合学習(総合的な学習の時間)」で取り組んだ「夏季特別活動 ポランティア活動をとらえて」の報告発表を行いました。

第2部は、家政科学系列被服系の生徒によるファッションショーを行いました。生徒たちがデザインし、制作した作品を紹介しました。

## ファッションショーテーマ 「Our Endless Story」

「Our Endless Story」をファッションショーのテーマにして、総合学科の家政科学系列(被服)の生徒達がデザインし、制作した作品を紹介しました。今回のショーは、布の色合いや風合いを楽しむ「Prismatic」、チャイナドレス、和服、レトロファッションからヒントを得た「Selfish」、様々な布を用いた「Like A Fairy Tale」、サテンやレースなどを用い、フォーマルな装いを意識した「Our Endless Story」の4つのシーンで構成され、これまでに学んできた知識や技術を活かし、思い思いの作品を仕上げました。ファッションをとらえて、ひとりひとりの想いや発想、感性を表現しました。

時代は中央  
(第14号)

発行  
山形県立鶴岡中央高等学校  
校長 山田 陽介  
発行日  
平成21年1月30日



**第3部**は、3年次生による「課題研究」の各講座から選ばれた代表6名が発表を行いました。系列の専門科目を学び更に深化・発展させるテーマを設定し、研究成果をプレゼンテーションソフトや映像、音響、実演を交えながら堂々と発表することができました。

Tea Ceremony ~世界に伝える日本の茶道~

3年7組 森本 真美 (鶴岡三中出身)  
お茶に対する興味から、他国のお茶文化を調べる中で、日本の茶道の魅力をさらに深く認識するようになりました。そして、是非外国の方に紹介したいと思い、その試みとして、外国の方を招いてお茶会を催し、英語で進行了ました。その様子や、参加者の感想などを発表して異文化交流のあり方について考察しました。



グリーンコンシューマー

「環境を大切にする消費者」

誰にでもでき、社会に影響を与えることのできる活動

環境に配慮したライフスタイルへの転換

消費者 → 選択者

物価の変動 ~石油価格の動向を中心に~

3年7組 中濱 雅人 (鶴岡五中出身)  
毎日ニュースなどで取り上げられている価格の変動を見て、いったい原因がどこにあるのか、またそれらが世界経済にどのような影響を与えているのか詳しく調べたいと考え、特に変動の激しい石油価格の動向を中心に調査、研究しました。

コラージュの研究

3年6組 高橋 彩香 (鶴岡五中出身)  
ある大学の卒業制作展で、タイツ生地を生かしたコラージュやボンドを蜘蛛の巣状に固めて貼りつけたコラージュに出会い、自己表現の可能性を広げるために、同じ素材を用いたコラージュについて研究しました。そして、実際に作品を制作しました。

コラージュを制作

・実際に作ったコラージュ作品



農業の再生と支援

- 1 価格保障制度・所得保障制度などの経済的支援
- 2 担い手の育成に力を入れる
- 3 無駄な輸入を行わない



日本人の米離れについて~米の魅力伝える~

3年6組 五十嵐 有紀 (酒田四中出身)  
近年は、食の欧米化などにより米の消費が低迷しています。また、現在の日本は、食糧自給率が約40%と低いことや日本の食を担う農業人口の減少により、先の見えない食糧危機に立たされています。このような問題について、「米を有効に使いながら、今後どのようにすべきか」を考えました。

子どもを育てる魔法の絵本 ~絵本の魅力と電子メディアの影響~

3年8組 佐藤 朱梨 (鶴岡二中出身)  
絵本は、子どもにたくさんのものを与えてくれる小さな魔法です。情報社会の中、普及する電子メディアとどのように関わり、影響を与えているのでしょうか。絵本と電子メディアの良さを持ち合わせたエプロンシアターを作製し、保育園で、子どもたちに披露しました。子どもを十分に楽しませることができ、エプロンシアターの持つ魅力を改めて実感しました。

(2) オリジナルエプロンシアター

工夫したところ

ストーリー

子ども達も声を出して参加することができる

大きなカラーが出てくる意外さ

構造

エプロンは専用のもの

演じやすい!!

ポケットはサテン生地

入れやすい!!



WE ♥ 福祉

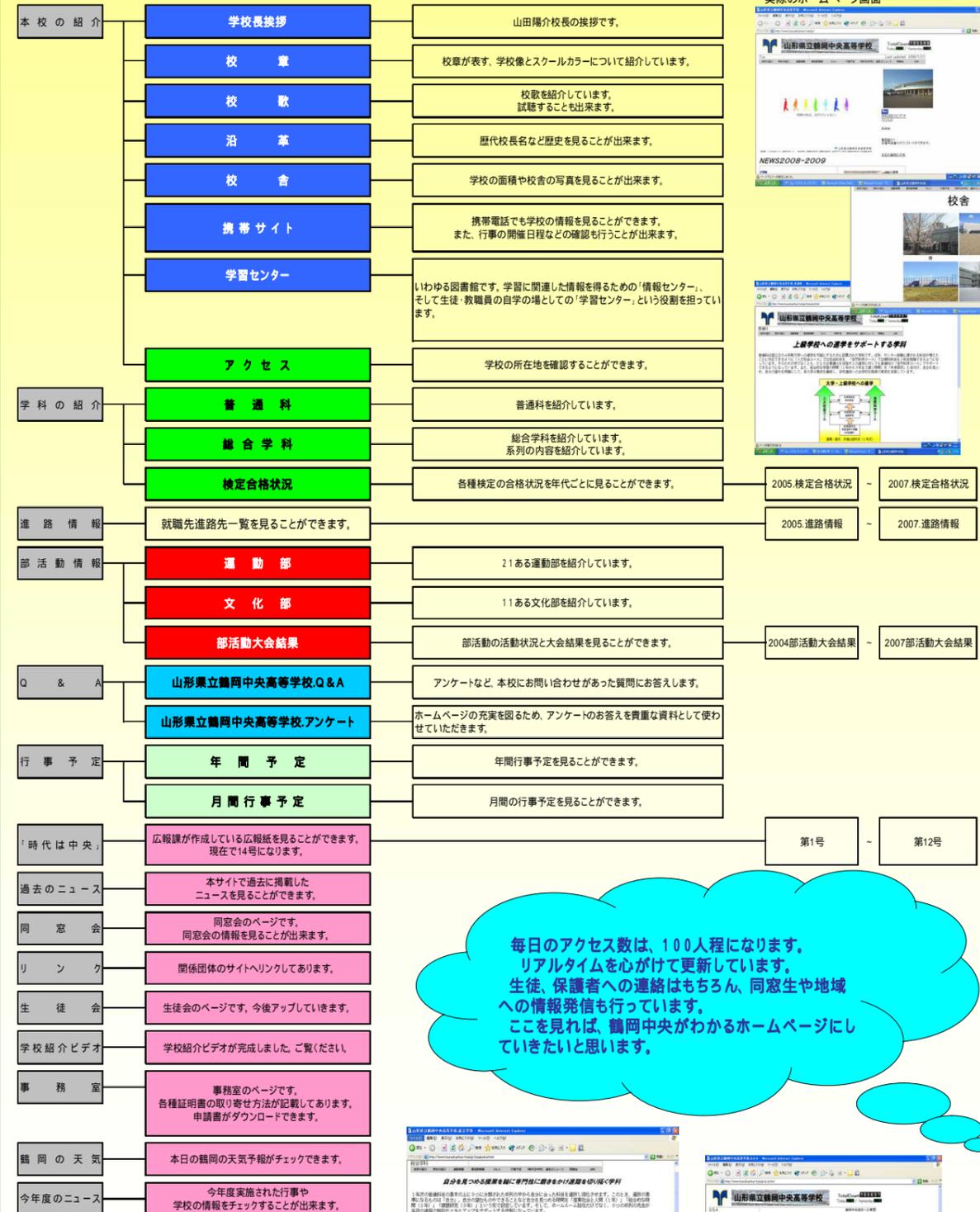


特別支援学級 ~Notice it and build it~

3年6組 土田 彩佳 (鶴岡一中出身)  
特別支援学級について研究を進めると、多くの方が特別支援学級についての理解が浅いことがわかってきました。これは、障がい児・者について理解していないことから起こる間違ったイメージが影響しているのではないかと思います。一人でも多くの方に障がい児への理解を深めてもらいたいと考え、調査・研究をしました。

**山形県立鶴岡中央高等学校 ホームページサイトマップ**

本校では下記のURLにホームページを立ち上げております。学校のいろいろな情報を見ることができます。



毎日のアクセス数は、100人程になります。リアルタイムを心がけて更新しています。生徒、保護者への連絡はもちろん、同窓生や地域への情報発信も行っています。ここを見れば、鶴岡中央がわかるホームページにしていきたいと思ひます。

